

拠点化に向けた都市デザインの基本的な考え方



都心軸



交流軸



基幹公共交通軸

古町地区

都心回帰モデルとして多様な機能の再集積を促進

西堀四つ角を中心とした既存施設の高度利用、及び、賑わい空間の創出

区役所移転を契機としたまちなかへの集客促進

みなとまち文化や歴史的建築物を結ぶ散策路・回遊空間の創出

新潟を象徴する空間デザイン

街や空の広がりを感じる通りの空間創出

人が憩い・集う広場の空間・動線整備

新潟の玄関口として相応しい風格と個性を兼ね備えた景観形成・機能強化
万代広場

新潟駅周辺地区

南口広場

上越新幹線を各地に結びつける二次交通結節機能の強化

民間活力を導入した南口低未利用地の利活用

観光や都市情報の発信機能やターミナル機能の強化

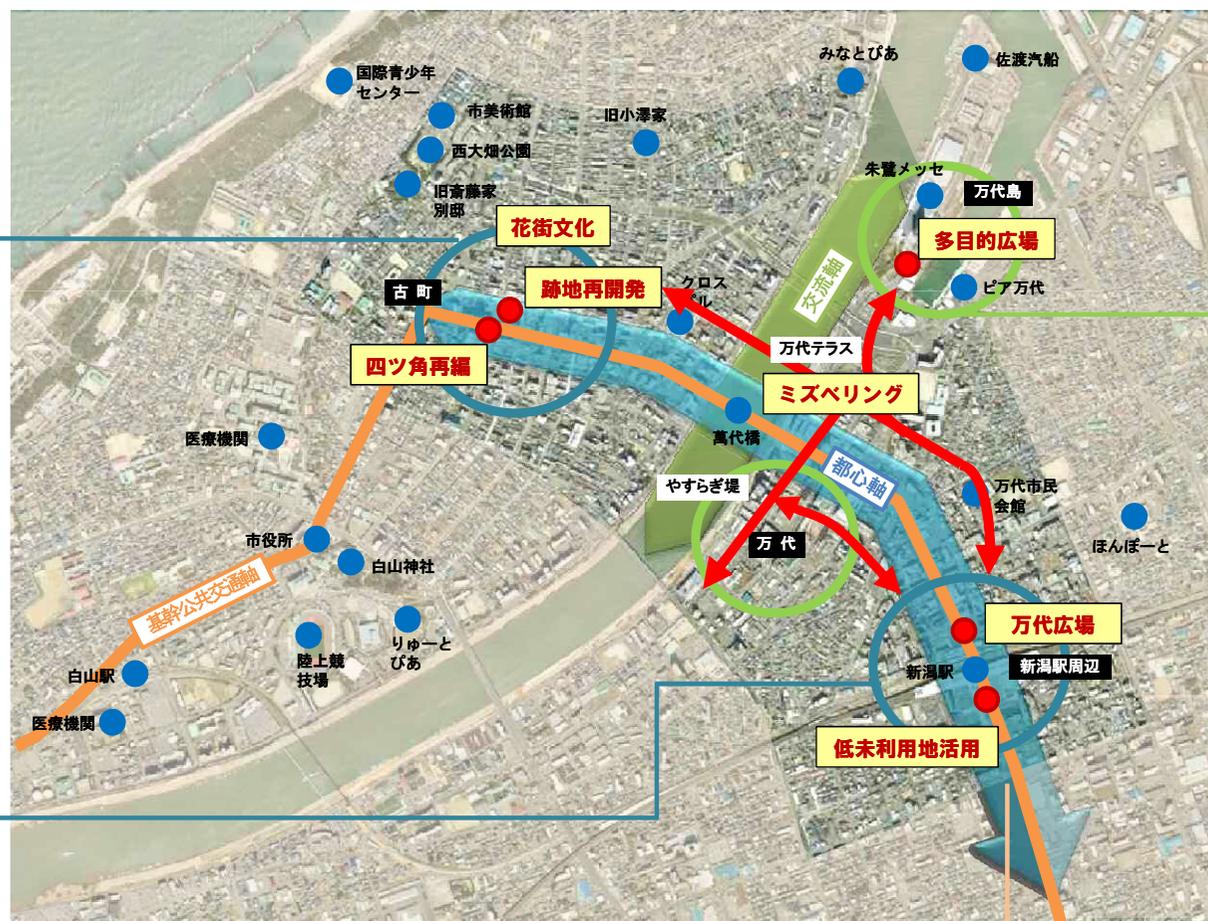
拠点化に向けて取組むべき課題

- ① 新潟のイメージやブランドを感じさせる新潟駅周辺のデザインづくり
- ② 新潟駅～万代島・古町へ人を導く仕掛けづくり(快適な歩行空間の形成)
- ③ 信濃川・西港の水辺を活かした賑わいエリアづくり
- ④ 西堀・榎谷小路を中心とした古町の新たな魅力を感じさせるエリアづくり
- ⑤ みなとまち・食文化に着目した観光資源の活用や情報発信
- ⑥ それぞれの軸上にある拠点間を結びつける快適で楽しめる移動環境の充実 など

拠点化に向けた理念と目標

みなとまち新潟の発信

川や港を活用した賑わいづくりを通じて新潟らしさを活かした拠点化を目指す



万代・万代島地区

開港150周年を契機に、信濃川・西港の水辺空間を新潟独自の魅力として磨き上げ、街なかの新たな賑わい空間として活用

萬代橋を中心とする水辺空間の回遊性を高め、広がりある街なかを創出

万代地区とも連動した賑わい交流拠点として、みなとを活かした環境整備を推進

港の風情やにぎわいといった人々が歩いて移動したくなる歩行者空間整備により新潟駅からの回遊性を向上

高架下交通広場の整備に合わせ、万代広場・南口広場発着のバス路線を再編、都心軸の一体化を促進

快適に動ける空間整備

古町と新潟駅間の距離を感じさせない快適な移動環境を整備

都心軸の延伸(鳥屋野潟方向へ)

「日」の字型の基幹公共交通軸の整備

基幹公共交通軸沿線

まちなかへ誘う移動手段の実現

新潟駅万代広場周辺の都市デザイン

【①現状・経緯】

- 公開コンペや市民ワークショップ(H13~16)を経て、現在のデザインが決定した。(10年以上経過)
- 駅前広場のコンセプト
『人、交通、自然が気持ちよく循環する都市の庭』
※万代広場・南口広場のデザインは、統一されている。

【②課題】

- 陸の玄関口である駅前広場では、水の都、みなとまち、花街文化など、新潟らしさの発信が求められている。
- 新潟駅から「まちなか」へ人を導く新たな仕掛けが求められている。
- ペDESTリアンデッキの代替となる広場内の歩行者動線の検討

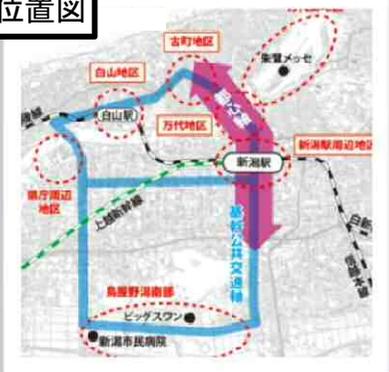
【③検討の視点】

- 基幹公共交通軸は、現在の位置が最適と考えている。
- 万代広場と南口広場の役割分担を考慮
- 歩行者の立場に立った景観や動線の明確化

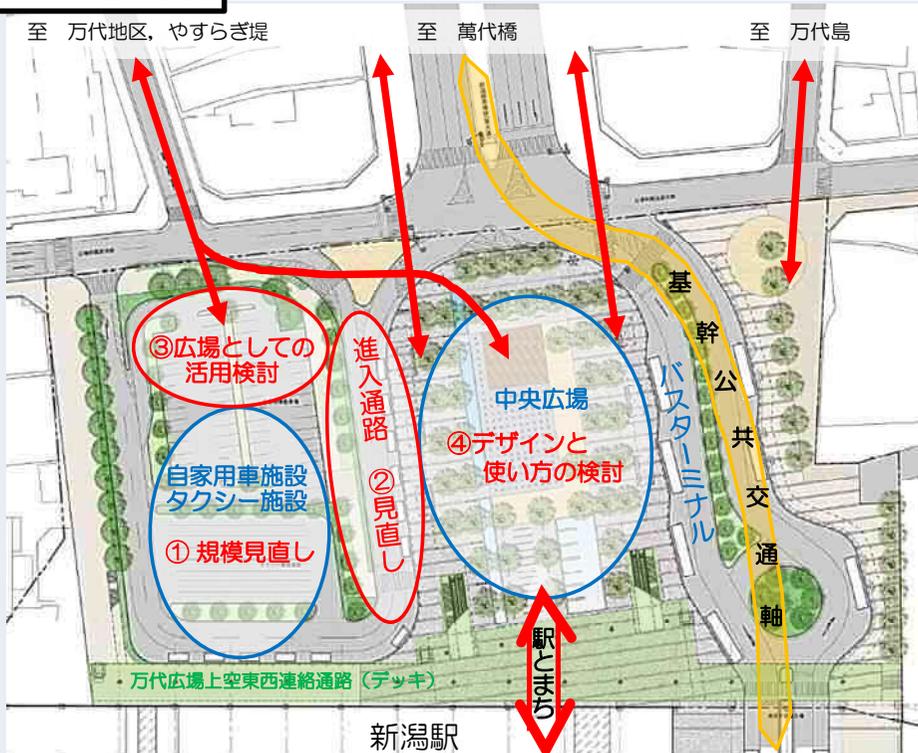
【④スケジュールなど】

- 県・市・JRの実務者レベル、および、設計者で見直し案を作成
- 『新潟駅万代広場等整備検討委員会』から意見をもらう。
・構成員:有識者、新潟県、新潟市、JR東日本など
- スケジュール
・H29.9月第1回検討委員会開催
・複数回の検討委員会を経て、年度末までに見直し案を作成

位置図



万代広場の検討



南北広場イメージ図



イメージ図



新潟駅～万代～古町地区を結ぶ交通軸の強化

【①現状・経緯】

- 弁天通りでの歩道空間整備(平成16年度)
- ガルベストーン通りの歩道整備(平成23年度)
- BRT第一期開業(平成27年9月)

【②課題】

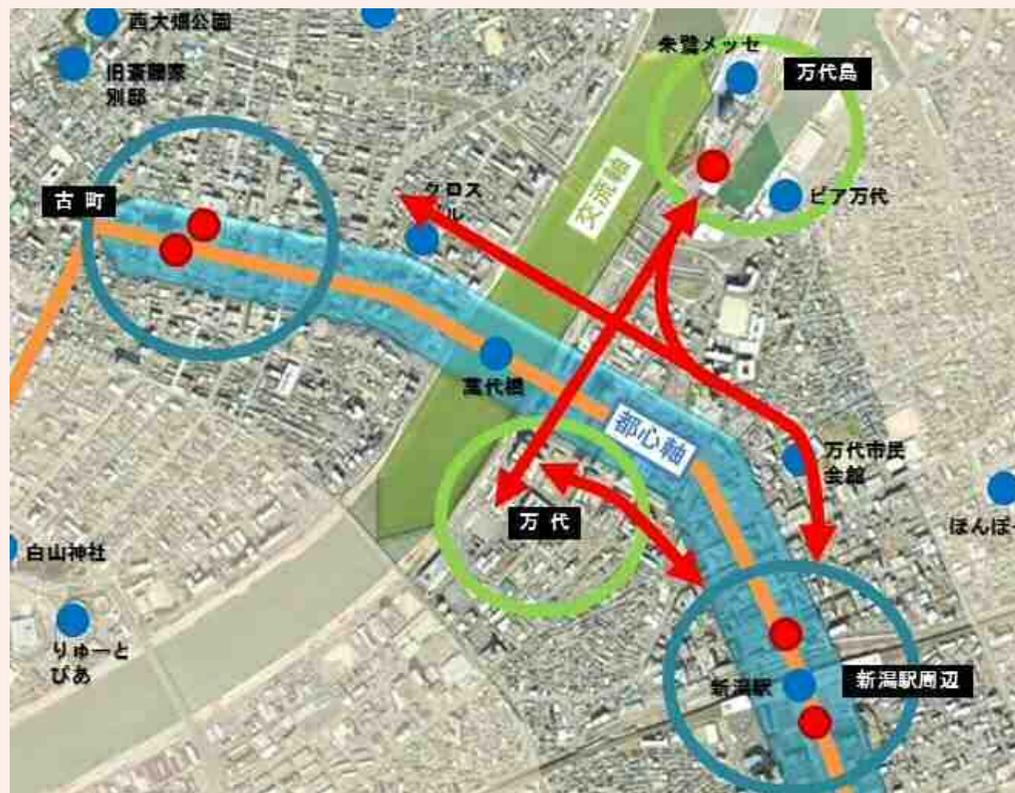
- まちなかにおける活力の低下・歩行者交通量の減少
- 都心の各地区の連携強化が望まれる。
- 新潟独自の魅力や個性を発信する都市空間の整備

【③検討の視点】

- 拠点化に向けたまちなか交通戦略
- 高架化後の基幹公共交通軸の強化とまちなかの回遊性の向上
- 陸の玄関口に相応しい魅力的な街並、景観形成
- 賑わいを創出する歩行者空間整備 など
- 万代・万代島地区へ人を導くわかりやすい動線案内
- 新潟駅と古町間の距離を感じさせない快適な移動環境

【④スケジュールなど】

- 市内全体の交通戦略の見直しを行うに当たり、そのなかで駅～西港～古町における回遊性を高める歩行者空間の在り方についても議論を行う
- 構成員:有識者、新潟県、新潟市、国土交通省、交通事業者等
- スケジュール・H29.8 第1回検討委員会開催
・H30年度 新「にいがた交通戦略プラン」策定



万代地区方面
・弁天通り
・ガルベストーン通り

古町地区・萬代橋方面
・都心軸
・基幹公共交通軸

万代島地区方面

新潟西港・万代島にぎわい創出

Niigata City

【①現状・経緯】

- 新潟港ポータルネッサンス21調査より新潟県が万代島を国際交流拠点とする整備方針を決定
- 朱鷺メッセオープン(H15年5月)
- ときめきラーメン万代島オープン(H16年4月)
- ピアBandaiオープン(H22年10月)
- 新潟県港湾計画を変更(H27年3月)
- ストリートイベントなどの社会実験を実施(H28年11月, H29年3月)
- H30年3月 旧水揚げ場(通称:大かま、屋内多目的広場) 供用開始予定(工事中)

【②課題】

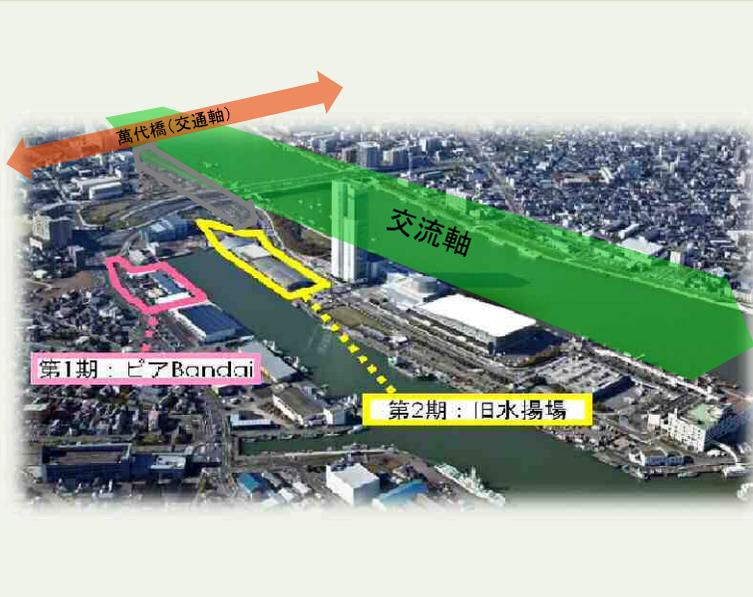
- 朱鷺メッセやピアBandaiなど隣接する交流拠点のほか、ミズベリング信濃川やすらぎ堤など周辺での取り組みとの連携
- 日常的なにぎわい空間としての機能拡充(ときめきラーメン万代島の撤退)

【③検討の視点】

- 既存施設の連携強化(朱鷺メッセ、大かま、ピア万代)
- みなとや水辺を活かしたまちづくり
- 万代地区と連動したにぎわい創出

【④スケジュールなど】

- 魅力創出と活性化を目的とした民間有識者を含めた『新潟西港・水辺まちづくり協議会』(H28.4)にて検討
- 構成員: 有識者、新潟県、新潟市、国土交通省
- スケジュール ・H29.6 第1回協議会開催
・第2回(10月)、第3回(H30.1月)
- H30年7月～ 新潟開港150周年記念事業スタート(オープニング事業:海フェスタ)



古町地区の都市デザイン

【①現状・経緯】

- 大和の閉店・撤退(平成22年6月)
- ラフォーレ原宿(NEXT21)の撤退(平成28年1月)
- 旧大和新潟店跡地での再開発事業着手(平成28年8月)

【②課題】

- 西堀ローサを含めた古町全体の魅力の低下
- 他都市や他地区と差別化した独自性のあるまちづくり
- 大型店舗など商業機能のみに捉われない新たな賑わいづくり

【③魅力向上方針】

- 湊町新潟の風情が残る花街文化の保存・継承
- 様々な都市機能の集積・回帰によるまちづくり

【④スケジュールなど】

- 平成29年8月14日 NEXT21に中央区役所に移転オープン
- 平成31年度 大和跡地再開発ビル完成
- 平成32年度 再開発ビルに本庁機能の一部が移転オープン

